

速報

第28回全県500歳野球大会開催日決定! 9月16日~20日

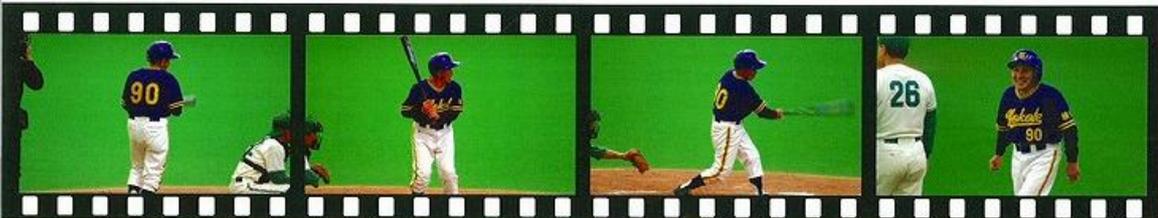
新屋日新クラブ 新春の集い



新春500歳野球対談



早春大館樹海ドーム中高年野球を楽しむ交流ツアー



第6号の
みどころ

- 大館樹海ドームツアー
- 横手市大親睦会
- 新春対談
- 新屋日新 新春の集い など

第6号
2006
4月

か
が
や
ま
き



原点に戻って



第一回全県500歳野球大会
トーナメント表

西明寺OBは大敗して、翌年から参加しな
かったが、機会があったらまた参加してみ
たい。



○高橋 善治さん
(西明寺OB)
野球も好きだったが、
その後(反省会)も好き
で参加した。一回大会で

も勝ったことはなかった。(苦笑)



○阿部 悦郎さん
(西明寺OB)
小さい頃は、草履を履
いて三角ベースで遊んだ。
360歳チームを編成し

「今一度原点に立ち返って、第一回全
県500歳野球大会(秋田魁新報社主催)
のいきさつや思い出を当時の参加者から
直接伺ってみたい。」秋田げんき情報誌
「かがやき」編集部が500歳野球の取
材を続けていくうちにこんな想いをめぐ
らせ、ついに一月二十日(金)、大仙市か
みおか温泉・嶽の湯で新春500歳野球
対談を開催しました。

参加者は第一回大会参加八チームより
五チームの十三名と第一回から大会役員
を務める伊藤久氏。たくさんの思い出や
これからの意気込みに、皆瞳をかがやか
せ嬉しい再会の場となりました。

て優勝しているのは船川OBだけであると
自慢話をしている。しかし最近では若い者
達に気合を入れているところだ。



○高橋 幸次郎さん
(船川OB)
全県大会(OB・3
60・450・540・
550・500)ですべ

球であればやれると思ひ参加したのできつ
かけてここまで楽しくやってきた。



○佐藤 晴治さん
(船川OB)
元々柔道やラグビーの
選手だった。しかし四十
も過ぎると体力的に野

球で練習しなければ失礼だと思ひ、面倒に
なりながらも頑張ってきた。



○田口 栄一さん
(神宮寺嶽)
ルールも何も分からなかつ
たが球拾いも必要だろう
と、離れた地区から参加

500歳野球誕生のキッカケ①

大仙市野球連盟神岡支部 理事長 伊藤 久

500歳野球誕生のキッカケは
語り尽くされた感もありますが、
昭和五十三年九月に高橋政泰氏(当
時五十九歳 東北肥料株式会社取
締役 秋田県野球協会会長)が、
昭和五年神宮寺小学校尋常科が全
県準優勝した時の同級生に呼びか
け、神宮寺嶽の麓、中川原球場に
て紅白試合を行ったことが始まり
です。

紅白試合の後、佐々木広之輔翁
(人見誠治元秋田魁新報社社長の
友人、「かがやき」を発行している
トビックス・ササキ社長佐々木康
浩氏の祖父)、佐藤亀治神岡町長
(500歳野球大会を町おこし事
業と捉え、大会育成に尽力)を囲
み神宮寺嶽をバックに記念撮影、
そしてお決まりの反省会は現役に
勝るとも劣らず大いに盛り上が
った。試合に出場したくとも出場機
会がなく、野球をしたいフラスト
レーションの固まりの年代である
ことを私なりに見定められたこと
も収穫の一つだった。ましてや同
年代と野球試合が出来た事で、「秋
田県内には自分達と同じ思い(野
球をしたい)の方々が大勢いるは
ずだ。【神宮寺】で全県大会ヤルべ
い」と話がドンドン大きくなった。「万
助(佐々木広之輔氏の屋号)さん
と勘九郎(政泰氏の屋号)のアン
サン(政泰氏のこと)なら、秋田
魁新報社に顔が効くだろうから大
会後援と優勝カップをお願いして
いただきたい。」と野球に対する飽



当時の伊藤久氏(左)

た。高橋政泰氏もタジタジだった
が、その時のことを後年私(当時、
政泰氏に敵命され球場確保、ライ
ン引き、ボールボーイ、反省会
の会場設置の雑用係をしたことが鮮
明に思い出されます)に「神宮寺
は本当に野球好きがいるなあ」と
実感し涙がでる位、嬉しかった。」
と語ってくれました。政泰氏が秋
田魁新報社にお願いするのは吝か
でないが、いきなり全県大会でも
ないだろうから来年(昭和五十四
年)郡大会を開催したらどうかと
折衷案を出し、ようやく反省会を
終えた事が昨日のように思われま
す。

我が人 野球



仁井田

「出来れば、
無理を承知で
ホームを着た
くれた仁井田
藤原監督は
球に関わって
大館ロートル
下の藤原秀雄
秋田市おはよ
百歳野球リー
合せまで、全
野球界には無
野球の試合で
トラブルのた
からの野球キ
「我がチーム
周年を迎え盛
え、ちょうど
会に出場をし
かった?身体
録が三十人し
出ない分一人

今一度500歳野球の



第一回出場記念メダル



参加者の皆さんにはこの記録的豪雪の中、集まっていたありがたさがあります。前日の吹雪に当日はどうなるかと心配しましたが、不思議と陽も射すほどの天気となり、皆さんの再会を歓迎してくれました。

●健康を誓って

再会を祝す宴の乾杯のご発声は高橋幸次郎さん（船川OB）。「ココに居る者は生き残りの勇士！もう三年で三十年、なんとしても頑張る。この歳になると『適当な栄養・適当な運動・適当な休養』さえあれば長生き出来ると言われるが我々現役野球人はそれだけでは物足りない。感動が無ければいけない。心の振るえ、魂の戦慄さ、こういうものを感じなければこれから生きていく甲斐がない！コレにはどうしても健康でなければならぬ。」
健康を誓っての乾杯に、唱和する声も一際高く響きました。



○平岡 三郎さん
(田沢湖駒陽ク)

役場勤めの当時、50歳野球の大会をやるので参加してみないかと声を掛けられた。営林署と話し合い、ユニフォームも揃わぬまま監督として参加したが、他のチームは皆立派でビックリした。



○高橋 正さん
(角球ク)

自分は陸上選手だったが、子供の親子野球に無理矢理引つ張りだされ、地下足袋はいて外野に立ったのが初めての野球。今500歳では球拾いだいが、600歳では三年連続メダルを買った。



○石田 金雄さん
(角球ク)

第一回大会、雲の中一斗缶で暖をとりながらの試合に、誰も一言も中止にしようと言わないほど野球に熱中していた。しかし、実は大変だった。



○菊池 繁さん
(角球ク)

陸上・スキーが得意だったが、野球と剣道の盛んな角間川に婿になり、野球をやるようになった。皆に呼びかけて六十余人のチームが出来、交流試合も盛んに行われ、「角間川の野球はモツ鍋」と言われるほど、観戦会も頑張った。

くなきオールドパワールの発揮、打球児達の面目躍如たるものであった。

時限りなく④

下浜クラブ 大友康 二総監督

夏の甲子園大会で歌われる大会歌「ああ栄冠は君に輝く」は、ちょうど私が高校時代に歌われ始め、この歌と校歌を歌えば青春時代を思い出します。

全県五百歳野球にも大会歌があったらなあ・・・と思っていた矢先、今野前神岡町長さんに「十五回大会を記念して大会歌を作って戴きたい。」と依頼されました。

嬉しくて喜んで引き受け、コンピを組んで来た菅原良吉先生に作曲をお願いしました。

菅原先生との出会いは、私が秋田大学入学（昭和二十五年）をして以来の親友で、先生の人柄は誠実にまじめで、また楽しい人でもあり人の面倒味が良い、親分肌の大先輩で尊敬しています。

作詞する時に心掛けた事は、「スポーツの高まりの時代に出会えた事よろこび、いくつになってもボールを追う楽しさ、浸る幸せ」を言葉にしようと思いました。

一番の「白球の夢追いかけて、つどいあう この地この空。」また2番の「半世紀時代に生きて、誇りあり この日この風」の一、二節ですべてを語り尽くせるように作り直しました。

第十五回大会の開会式で、平和中学校生徒、二百三十三人全員の合唱で発表されました。



歌い終わった時には、町長さん高橋政泰さん、伊藤久さんなどと握手を交わした感動はいまだに忘れません。

その当時一緒に歌ってくれた子供達も今は、良き青年になっていく事でしょうね。

大きな大会になりました。夢のような大会になりました。

しかし、この大会だけは、勝利至上主義の大会とは一線を画し「時限りなく」のタイトルのように参加者全員が、本当のスポーツの楽しさ本場の野球の楽しさをアピールできる大会であって欲しいです。

コミュニケーションの場、交流の機会を多く持てるのがスポーツの真髄です。

そして、年を重ねても常に白球を追う「永遠の球児たち」の大会として継続し続け、秋田県民ひとり、ひとりが、元気がかがやきを取戻す事が出来る大会になって行く事を願っております。（おわり）



昭和55年AKT少年の船にてグアムで藤原良吉先生(左)と

かったと思っ
年はどうした
と嬉しい悩み
い人達は余り
たのが一寸淋
微笑む奥様の
仕事も一緒に
婦ぶりが羨ま

八橋西

十二月十日
真冬の到来と
ムの忘年会は
最初にチー
れ、打率四割
一分十四打点
藤さんに特別
その戦績表
分でそのうち
が三割バッタ
たんですね！
です。この後
にジャンケン
までもありま
「松枯れ再生
もちろんそ
たチームの陰
ジャーからブ
れ会は更にヒ
最後は、大き
まれチーム全
人に感謝する
が大合唱のも
にいつまでも
した。
【写真の円内
成績にご満悦
(右)と金前

生...。
と共に！②

「野球クラブ 藤原文雄 監督



「子供の頃、野球をしたのはせいぜい草野球位かな？この仁井田に越して来て、野球チームの募集チラシを見た家内が、俺の野球好きを覚えていて俺に断りもなく早速申し込んだのが始まりだ。家内も俺以上に野球が好きなんもんだから。」家業の手焼き煎餅の仕事が最も忙しい時におじやまをしユニホームを着てくれませんか？」とお願いすると、笑顔を絶やさずにユニのまま姿で、煎餅を焼きながら話して野球クラブの藤原文雄監督。

大館生まれ、九人兄弟のうち三人が野いると聞きます。一番上のお兄さんはクラブの監督藤原良一氏。また、一番氏は秋田市野球連盟の事務局を始め、う野球・一昨年から始まった秋田市五グ戦・東北生涯野球など連絡係から問て一手に引き受け、それぞれに秋田県くではならない兄弟です。余程前に、一番上の兄と試合をした時、一寸しために兄弟の縁を切った時もあるほど根っチ三兄弟。

は昨年、全県五百歳野球に出場して十大に祝賀会を催した。自分も古希を迎五百歳野球と同じ日に全国古希野球大て来た。皆にどうして全県に出場しなでも悪くしたか？と言われた。選手登か出来なく、俺がでも出場させて良でいるが、さて今



横手市500歳野球連盟 新年大親睦会

横手市500歳野球連盟新年大親睦会が1月29日(日)、横手市大森のさくら荘にて、15チーム約140名の参加で盛大に開催されました。



連盟会長の山内杜氏チーム部長・山初繁氏は「この会で大いに語り、練習試合の相談などしてもらえたら嬉しい」と挨拶。



それではさっそく...



宴会中でも真剣な表情でどんな事話をしているのでしょうか？



カラオケで熱唱している雁チームの小原重夫さん(左)と高橋龍一さん(右)ブ顔負けの格好よさです！



「かんぱ〜い！」



会場を盛り上げてくれた民謡



祝宴の日本舞踊ではおひねりが手渡される場面も



今回の親睦会を担当された八木沢500チームの皆さん。(トピックスの社長も混ざっていますが...) 本当にお疲れ様でした。

500歳野球大会

クラブ
理士事務所

新町49番地
3-2044

PHOTO:大館グリーンクラブ

かがやく笑顔
YEBISUでエビス顔

GREEN club

19
25

大館

★ SAPPORO

ているが、さて今
ら良ものか・・・
?」でも、今の若
野球をやらなくなっ
しい。」と話す横で
令子さん。野球も
楽しむおしどり夫
しく感じました。



大畑忘年会

日、この日の秋田市内は北風も冷たく
いった感じでしたが、八橋西大畑チー
、本大会と同じ熱気に包まれました。
ムの戦績(十二勝四敗一分)が発表さ
七分四厘の主将・川村さんと打率四割
の浅利副主将、最年長ホームランの佐
賞が贈られました。

によるとなんとチーム打率は、三割三
長打率は五割四分八厘、ほとんどの人
一だったんです。本場に超強力打線だっ
でも中々勝たせてくれないのが本大会
、本大会のジャンケン負け敗戦を教訓
大会が忘年会に組み込まれたのは言う
せん。(このジャンケン大会の収益金は
募金」に寄付されました。)

の後は、加賀谷部長、小貴監督といっ
の功労者には、特注のお花が美人マネー
レゼントさ
トアップ。
な陣が組
員が一人一
「しゃか
と会場一杯
響き渡りま

は、チーム
の小貴監督
監督(左)



新屋新春の集い “今年も頑張るぞ”

2月19日、秋田市にある日吉神社の日吉会館にて新屋日新ク
ラブ『新春の集い』が選手、応援団合わせ約40名の参加者で盛
大に行われました。



今回の集いのために立派な横断幕を作った
渡辺一義さん(右)。その下で司会を務めた
横山茂さん(左)。お二人はとても仲の良い
同級生同士です。



宴会前に今年の戦略を考え中?!



谷口武会長さん(左から2人目)
も皆と一緒に飲んでとても嬉し
そうな笑顔。



仲間と飲み交わす今年初めての
お酒。皆さんとても楽しそう!



「今年は勝つことを目標にし、
チーム内での競い合いを目標に
したいと思います。」と今年の目
標を語る小番進監督さん。



休部復帰された相沢朝雄さん
(左)と新会員の藤枝隆博さん
(右)。お二人の活躍が期待
されます。



SUBARU LEGACY 熱き男たちの心も走破する

野球を愛し
家族を愛する
俺たちが選んだ車

PHOTO: 2.5i S-style オプシディアンブラック・パール&大曲クラブ

秋田スバル(株) 上野車両整備(株) TEL0187-74-2745

全県 500歳野球大会

角館
村井好道税理士

秋田県仙北市角館町上新
電話 0187-53-

3月17・18日、かがやき編集部主催による「早春大館樹海ドーム 中・高年野球を楽しむ交流ツアー」が行われました。

その日は朝からあいにくの雨模様でしたが、開催地は大館樹海ドーム。「雲ひとつない」絶好の野球日和となりました。

今年から採用される新しい公認球に、慣れないドームでの試合となりましたが、一試合一時間という制限の中たくさんの好・珍プレーが続出しました。



写真(右)が新しい公認球。



参加3チーム(延べ6チーム)の選手たちが樹海ドームのマウンドに集結!



川越清美さん



千葉英一さん



金子正信さん

全県50歳野球をはじめ各行事の取材をする中で、皆さんの野球に対する熱い思いを常に感じていましたが、今回のツアーでは改めてその思いの深さに触れ、びっくりしています。行き帰りのバスの中はもちろん、夜の宴会や朝食のときも皆さんから出る話題は野球の事。ちょうどその日はWBCの真っ最中で、その話題でも盛り上がっているようでした。

帰り際には皆様から「楽しかった」との声聞くことができ、スタッフ一同喜んでます。本当にありがとうございました!

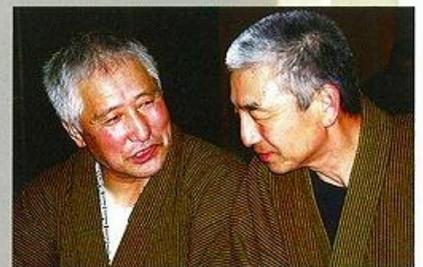
※『かがやき』編集部では、来年の早春交流ツアーへの参加チームを募集しています。ひと足先にボールと土の感触を楽しみたいチームの皆さんは、是非ご連絡下さい。(早い者勝ちですよ～)

大館樹海ドームツアーのお礼状を書いた。

ほかにした。



たとえチームは違っても、同じ野球を愛する仲間。野球談議に花を咲かせ、どんどん宴は盛り上がります。カラオケもすごく盛り上がり、最後は「サライ」にあわせてみんなで歌いました。私たちスタッフもちやっかり仲間入り!





早春 大館樹海ドーム 中高年野球を楽しむ交流ツアー

S H
B E
O Fc



会場設営など多方面に渡りご協力いただいた、大館グリーンクラブ



交流試合の成功を誓って、固い握手。



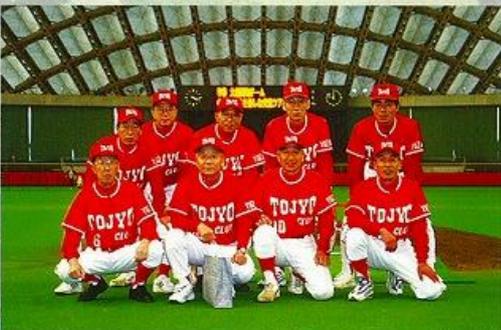
横手ク・十文字ク・横手中央ク・秋田東部クの有志による横手混成チーム



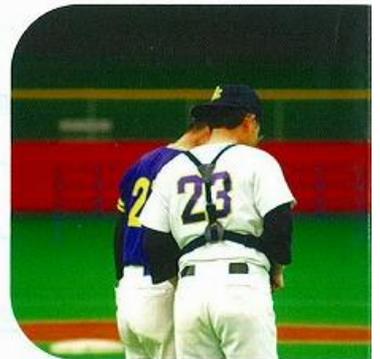
こんなシーンが見られるなんて、混成チームならではの。色々なカラーのユニフォームが同時に見られる試合なんて、なかなかありませんよね。



高橋徳之助さん



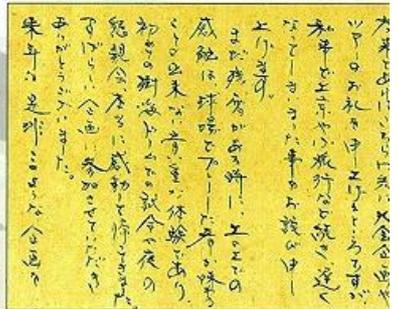
この企画に対し、一番最初に参加を決定してくださった湯城クラブ



藤原投手と村上捕手

記念品贈呈者

- ホームラン賞 横手混成（横手ク） 村上藤一郎氏
- ホームラン賞 湯城クラブ 宮原正四氏
- 珍プレー賞 横手混成（横手ク） 小丹昇蔵氏
- 珍プレー賞 横手混成（横手ク） 藤原利雄氏
- ハッスルプレー賞 横手混成（横手ク） 高橋徳之助氏
- 好プレー賞 大館グリーンクラブ 成田 要氏



湯城クラブさんからいただいたお礼の手紙。メールや電話で感激のお言葉をいただきま



かがやき掲示板

★「500歳野球」特集では、生き生きした表情の写真が多く載せられていたのが印象に残ります。一万枚撮ったのはすごい！
(秋田市男性)

●選手の皆さんの「かがやき」姿を写真に収めたくて編集部一同、各球場を駆け巡って撮った写真。「かがやき」だけでは紹介しきれない素敵な選手の皆さんを、今年も秋田市アルヴェの写真展で紹介いたしますので是非に来てください！(五月三・四日です)

★私達チームの主将が選手宣誓という名譽にあずかり、又二回目という幸運にめぐまれ選手一同大変感激しました。(湯沢市男性)
●開会式での大切な選手宣誓に二回もめぐまれるなんて、本当に運が良いチームですね。運も実力のうち！今年も頑張ってください。

★このたび、「クロスワードパズル」に当選させていただき誠にありがとうございました。私の応援するチームの成績は残念ながらもしたが私個人は「クロスワードパズル」ベスト⑤に入ることが出来たので非常に嬉しく思っています。
(秋田市男性)
●わざわざお礼のハガキを送ってくださいありがとうございました。喜んでいただいで私達も非常に嬉しいです！今年も応援するチームもベスト⑤に入ると良いですね。選手の皆さんの活躍が楽しみです。

第四回クロスワードパズル当選者発表

答・とくしゅう

- ・柏谷 妙 子様 (大仙市)
 - ・若林 尚 孝様 (秋田市)
 - ・佐々木 理保子様 (由利本荘市)
- 秋田播磨焼ご提供)とっくり&ぐい呑み(二点)セット」をプレゼントいたします。

次回の応募

次回は今号の感想明記の上ハガキ・メールまたはFAXにて応募ください。抽選で十名様に「ふじわらの手焼きせんべい」(二袋)をプレゼントいたします。

※ 申し訳ございませんが、クロスワードパズルはお休みいたします。



編集後記

今回の「かがやき」六号はいかがだったでしょうか？大幅にリニューアルしましたので、皆さんの反応がとても気になります。読んでいただく皆様にも喜んでもらえるよう、試行錯誤しているところです。どんなご意見、ご感想も受け付けています。どしどしお手紙をお寄せください。お待ちしております！(抽選で仁井田クラブ 藤原監督の美味しい「せんべい」が当たりますよ)
そして今年もゴールデンウィーク中(五月三日・四日)、アルヴェで写真展を開催します！ユニフォーム姿ではない普段着姿の選手の皆さんはもちろん、色々な方にお会いしたいので是非いらして下さい。

今後の主な大会予定

※天候等により変更になる場合もありますのでご了承ください。

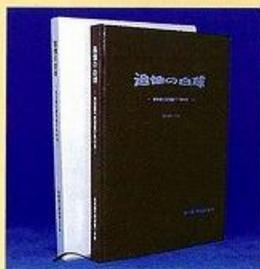
開催日	大会名称	開催地	参加数
5月21日～8月一杯	秋田市500歳野球リーグ	秋田市	19
6月17日～18日	県北地区選層野球大会	大館市	
7月1日～3日	大曲仙北500歳野球大会	大仙市	
7月8日～	北仙北500歳野球大会	仙北市	10
7月22日～23日	第2回湯上500歳野球大会招待大会	湯上市	10
7月8日～10日	第21回秋田県選層軟式野球大会	能代市	36
7月22日～23日	由利本荘500歳野球大会	由利本荘市	14
7月下旬予定	北日本50歳野球大会		
8月5日～7日	全県選抜550歳野球大会	大仙市	
8月19日～20日	全県540歳野球大会	男鹿市	
8月最終土日	横手平鹿500歳野球大会	横手市	
8月26日～28日	全県450歳野球大会	大館市	
8月26日27日	第八回選層野球大潟村大会	大潟村	10～11
9月3日	本荘由利550歳野球大会		
9月4日・11日	ベースボールマンの会(能代500歳)	能代市	13
9月16日～20日	第28回全県500歳野球大会	大仙市	
10月第1日曜日	角間川選層野球大会	大仙市	
10月5日～6日	全県600歳野球大会	由利本荘市	
10月7日～8日	第2回元木山選抜スーパーマスターズ540野球大会	湯上市	

一年以上をかけ

二百七十頁の大作

秋銀野球部「追憶の白球」完成

平成十六年十二月秋銀硬式野球部解散を機に「記念誌」のようなもので残そう。と言う機運が高まり、OB会が実行委員会を立上げ一年以上かけて、総ページ数二百七十頁の記念誌が十八年二月に完成しました。



記念誌には、昭和二十三年秋田銀行所属野球部として創部以来、軟式・硬式時代の数々の栄光の軌跡(昭和二十七年に団体三位・四十五年天皇杯ベスト四・東北地方銀行野球大会では十二回大会中八回優勝など)や、昭和四十六年に硬式野球部発足後の活躍の経緯などを盛り込んで、平成十六年十二月硬式野球部解散までの、五十七年間にわたる歴史が、OB会員からの写真・大会プログラム・新聞の切り抜き・当時活躍した選手の手記により、ドラマチックに回想出来るように編集されています。
尚、この記念誌は会員限定版です。



KAGAYAKI